

08 拉致問題を忘れない (拉致問題)

5 (ナレーター) 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、ハルがお届けします。

毎年、12月10日から16日までは、「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」というのをご存知ですか？ 今日はず、この曲をお聞きください。

10 〈曲〉見上げた空は続く。想いも必ず届く。変わらない笑顔はきつとそこにある。必ず 迎えに行くよ。会いたいよ、今。会いたいよ、今♪

15 (ナレーター) 「必ず迎えに行くよ」と訴えかけるこの曲は、「空と海の向こう」という北朝鮮拉致問題の解決を願って作られた歌です。作者は大阪のシンガーソングライターの山口采希(やまぐち・あやき)さん。どんな想いでこの曲を作ったのか、お話を聞いてみましょう。

20 【山口さん役】ファンの方にブルーリボンのバッジをいただいたのがきっかけで、この歌を作りました。恥ずかしながら当時の私は、それが拉致被害者の救出を願うバッジとも知りませんでした。でも、そこから関心を持って調べるうちに、

25 音楽を通して多くの人にこの問題を知ってもらおうことは、私にもできるんじゃないか、と思うようになったんです。

(ナレーター) 曲づくりでは、どんなことを大切にされましたか？

30 【山口さん役】 拉致問題は、政治的に難しそうだと思うと、目をそらしてしまいがちになります。でも、これはまず人権の問題で、人の命の尊さの問題なんです。自分も同じ命ある者として考え、被害者のご家族の悲しみに寄りそうことを大切にしました。

(ナレーター) この歌を通して何を一番伝えたいですか？

40 【山口さん役】 政府が認定した拉致被害者17名のうち、12名はまだ帰ってくる事ができていません。帰りを待つご家族はご高齢になり、亡くなった方もいます。ご家族の前で歌うこともあるんですが、聴きながら涙を流す方もいらっしやいました。路上ライブでは若者や多くの人が応援してくれて嬉しいのですが、私としては拉致問題が一日も早く解決して、この歌を歌わなくてもいい日がくることを心から願っています。

(ナレーター) 令和2年6月、拉致被害者家族の代表として、長年活動されてきた横田滋(よこた・しげる)さんが亡くな

られました。全身全霊で拉致解決に打ち込んできた滋さん。
にゆういんちゆう入院中の枕元にも、まくらもと拉致された娘のめぐみさんの写真が置か
 れていたといひます。拉致から42年あまり。ついに愛する娘
さいかいとの再会は叶いませんでした。かな

きよく〈曲〉かなら必ず行くよ、むか迎えに行くよ♪